

## 天皇制廃止を前提条件とする九条廃止について

春九千

chunjiuqien@infoseek.jp

日本国民の皆様

天皇制廃止を条件として、安保法制を承認なされてはいかががでしょうか？

具体的には、

憲法改正により、日本国憲法から天皇に関する条文を全て削除する。

これを、安保法制を承認するための条件にする。

### 安保法制承認

私は、これからの日本は、アメリカに頼らなくても、自分の国を守る意思と力を持つ国になるべきだと考えています。

そのために、安保法制を成立させることが必要なのではないかと考えています。

なぜか？

私は次のような危惧を抱いているためです。

### アメリカはイスラム国に負けるのではないか？

一時鳴りを潜めていたイスラム国は2015年6月に入って、勢力を拡大しています。

雑誌「Newsweek」には、このあたりの状況について次のようなレポートをしています。

> WHY OBAMA MUST CHANGE COURSE

> オバマは戦略を見直すべきだ

> ウィリアム・ドブソン(本誌コラムニスト)

> 2カ月前、テロ組織ISIS(自称イスラム国、別名ISIL)は退却を余儀なくされているように見えた。イラク北部の要衝ティクリートを失い、戦線は伸び切っているようだった。

> だが、過去1週間で戦況は一変した。ISISは砂嵐を利用してイラク西部のラマディを攻略。3日後にはシリアの古都パルミラも制圧した。大方の予想を裏切る反転攻勢だった。

> これでISISはシリア全土の約50%を押さえ、さらにユーフラテス川流域を東進する構えだ。このまま行けば広大な支配地域と既に掌握したイラク中部の拠点都市ファルージャをつなぐルートを確認できる。ファルージャから近い首都バグダッドのイラク政府にとっては一大事だ。

(Newsweek 30 2015/06/02)

さらに、アメリカを中心とする有志連合もイスラム国の勢力拡大を押さえ込むことが出来ていないばかりか、後退すらしているようです。

雑誌「Newsweek」の前述の記事は、次のように続けています。

> アメリカ政府にとっても由々しき自体のはずだが、バラク・オバマ米大統領はアトランティック誌の取材に、ラマディ陥落は「戦術的後退」と認めたが「負けてはいない」とも語った。

> とてもそうは思えない。

(Newsweek 30 2015/06/02)

日本では、このような発言のことをこう呼ぶ。

大本営発表

アメリカはイスラム国に負けつつあるのではないか？

アメリカは無敵ではない。  
ベトナム戦争ではアメリカはベトナムに負けた。  
アフガニスタンについても次のような論評がなされている。

>米軍も近いうちにアフガニスタンから全面撤退する。事実上の敗退だ。

<http://www.newsweekjapan.jp/stories/2015/02/isis-12.php>

> ISIS の背後にうごめく神秘主義教団の冷酷な影 最新記事 ニューズウィーク日本版 オフィシャルサイト

日本は、アメリカがイスラム国に敗北するという事態に備えておいて然るべきです。

# 第三次世界大戦

## 第三次世界大戦は既に始まっているのではないかと？

私は第三次世界大戦は既に始まっているのではないかとこの危惧を抱いています。  
根拠は、イスラム国の影響の世界への拡大です。

>2014.09.20

<http://synodos.jp/international/10781>

>アジアで影響力を拡大するイスラム国——海外報道から考える - 平井和也 - 翻訳者 SYNODOS -シノドス-

>2014年9月24日

<http://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2014/09/post-3400.php>

>欧米社会に忍び寄るISIS「首切り」の恐怖 ワールド 最新記事 ニューズウィーク日本版 オフィシャルサイト

>2014/10/19

[http://www.nikkei.com/article/DGXLASGM19H0F\\_Z11C14A0FF8000/](http://www.nikkei.com/article/DGXLASGM19H0F_Z11C14A0FF8000/)

>「イスラム国」シンパ増殖 過激派が傘下入り :日本経済新聞

>2015年2月24日

<http://www.newsweekjapan.jp/stories/2015/02/isis-11.php>

>ISIS「脱走兵増加」で新たなテロが幕を開ける？ 最新記事 ニューズウィーク日本版 オフィシャルサイト

>2015年03月14日

<http://matome.naver.jp/odai/2142625465286177101>

>イスラム国の新声明 ボコ・ハラムの忠誠受け入れを表明、イスラム国の支配が西アフリカに拡大したと宣言 - NAVER まとめ

>2015年05月09日

<http://matome.naver.jp/odai/2141309571052957801>

>イスラム国の支配地域の拡大が分かる地図 - NAVER まとめ

>2015年06月10日

[http://www.huffingtonpost.jp/2015/06/10/islamic-state\\_n\\_7549592.html](http://www.huffingtonpost.jp/2015/06/10/islamic-state_n_7549592.html)

>IS(イスラム国)、リビア中部のシルトを制圧か イラクの主要都市モスルの奪還は見通し立たず

世界各地でイスラム国に呼応して武装勢力が蜂起する事態は考えられないことではないように思われます。

その場合、アメリカの対応能力を超えることは予想がつきます。

実は、第三次世界大戦が既に始まっているのであれば、日本は安保法制を整備する以外の選択の余地は無い。

イスラム国相手に戦力を割けば、アメリカは日本防衛に割く戦力を減らさざるを得なくなる。防衛に関してアメリカ軍の戦力は頼りにならなるはずで。

むしろ、アメリカが日本の戦力を頼りにせざるを得ない事態になることが予想されます。

さらに、アメリカがイスラム国に敗北する事態になった場合。

日米安全保障条約は唯の紙切れと化すことも考えられます。

そうなってから慌てて安保法制の法整備を進めても遅い。

今のうちに、日本は安保法制の法整備を進める必要があるのです。

### 第三次世界大戦に備えよ

もしも、第三次世界大戦の戦火が本格的に拡大した場合、影響は全世界に及びます。

そうなると、日本だけ無事で済むとは思えません。

この世界の危機に日本は手をこまねいていてよいのでしょうか？

日本は世界のために何か出来るのではないか？

まず、戦火が広がる前にイスラム国という火元を消す必要がある。

そのための手段として、対イスラム国の戦争で、アメリカに協力するべきだ。

私はそう思っています。

日本はアメリカを助けなくても良いのでしょうか？

ひょっとするとイスラム国情勢はベトナムに陥るかもしれません。

もしもイスラム国をこのまま放置すれば、イスラム国はサダムフセインより厄介な敵になるかもしれません。

それでも日本はイスラム国を放置しておいても良いのでしょうか？

日本はこれまでずっとアメリカに助けられてきました。

更にいえば、

もしもアメリカが消耗して弱体化すれば、日本は困るのではありませんか？

これは恩返しのチャンスです。

日本はイスラム国に関してアメリカに対し集団的自衛権を行使すべきです。

そう思いませんか？ > 日本国民の皆様

そう思いませんか？ > 自衛隊関係者の皆様

私は次のような危惧を抱いています。

第三次世界大戦は既に始まっているのではないか？

このような世界情勢の中で、アメリカに依存した防衛体制のままでは日本は危険です。

私は、これからの日本は、アメリカに頼らなくても、自分の国を守る意思と力を持つ国になるべきだと考えています。

そのために、安保法制を成立させることが必要なのではないかと考えています。

そして、これにより、アメリカと協力してイスラム国を壊滅させる。

それが結局、日本を守ることになるのではないのでしょうか。

## 天皇制廃止

ただし、現状では、私も、安保法制の成立に賛成することに躊躇せざるを得ません。  
なぜならば、天皇制が残存するためです。  
日本を守るという意味が、国民保護を意味しないようでは意味がありません。

第二次世界大戦末期、大日本帝国政府は国民保護よりも国体護持を優先するという過ちを犯しました。

> 終戦和平にあたって、最後まで譲ることのできなかつた条件は「国体護持」(＝天皇制の存続)であったが、ポツダム宣言の受諾をめぐる対米交渉において、それが連合国側から確約されたわけではなかった。

[http://www.japan.tsukuba.ac.jp/journal/pdf/06/1\\_hatano.pdf](http://www.japan.tsukuba.ac.jp/journal/pdf/06/1_hatano.pdf)

> 国体護持と「八月革命」

> 一 戦後日本の「平和主義」の生成一

> 波多野 澄 雄

> 筑波大学 名誉教授

> 戦争終結への動きが具体化し始めるのは、1944年(昭和19年)7月に東条内閣が倒れて以後であるが、(略)そして軍部は「国体護持」を主張して戦争を継続した。

> 6月6日の最高戦争指導会議構成員会合で「国体護持と皇土保衛」のために戦争を完遂するという「今後採ルべき戦争指導ノ基本大綱」が採択され、それが御前会議で正式決定されると、(略)

> 大本営・内閣合同の「戦争最高指導会議」での東郷らの説得工作や、「御前会議」における、2度の昭和天皇の聖断を経て、「国体護持」を条件としたポツダム宣言受諾を決定したが、最前線における日本軍の崩壊や原子爆弾の被害にも関わらず、阿南陸軍大臣ら軍首脳は「自主的な武装解除」・「自主的な戦争犯罪の処罰」・「日本本土への占領を行わない確約」の追加を、最後まで要求した。

> 連合国側からの回答(国務長官ジェームズ・F・バーンズからのいわゆる「バーンズ回答」)において、「日本の政体は日本国民が自由に表明する意思のもとに決定される」とされたことに、「日本の国体を決めるのは天照大神の神勅のみである」と憤慨する要人からの反発、更に8月15日には本土決戦内閣を樹立するためのクーデター未遂事件(宮城事件)の発生など、「神州不滅」を真理と考える戦争継続・本土決戦派の勢いは強く、8月15日正午の「玉音放送」以後も松江騒擾事件や厚木海軍飛行場での小園安名大佐による決起事件(厚木航空隊事件)など揺り戻しの可能性が尚も残されたまま、降伏文書の調印まで緊張した情勢が続くことになった。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%AE%E9%99%8D%E4%BC>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%AE%E9%99%8D%E4%BC>

> 日本の降伏 - Wikipedia\_9C

第二次世界大戦後、日本は天皇制を廃止することに失敗しました。

天皇制は未だ日本に残存しています。

ということは、

戦況次第では、政府は再び国民保護よりも国体護持を優先するという過ちを犯しかねないということです。

**日本国にとって大事なものは国民保護です。**

**国体護持などではありません。**

**日本国政府に同じ過ちを犯させるわけにはいきません。**

そこで、

天皇制の廃止です。

あらかじめ、天皇制を廃止しておくことで、

日本国政府に国民保護よりも国体護持を優先するという過ちを犯す余地を消しておきます。

天皇・皇族の皆様方にしても、第二次世界大戦末期に大日本帝国政府が国民保護よりも国体護持を優先させたことに心を痛めておられたことでしょう。

70年前、日本のいちばん長い日に御前会議におわす天皇陛下のお気持ちを忖度すれば、きっとこのように思し召しあそばれていたに相違ありません。

## 「ひとりでも多くの国民に生き残ってもらおう」

我々は日本国民を護らんとする天皇陛下のこの大御心に応えるべきではないのか？

## 天皇制廃止の手段

天皇制廃止は次の3ステップで実現させることが考えられます。

- (1)憲法改正により、日本国憲法から天皇に関する条文を全て削除する。
- (2)法改正により、天皇制を成立させている、皇室関連法規を始めとした全ての法令を廃止し、法令中の全ての条文を削除する。
- (3)天皇・皇族の人々に日本国籍を付与する

## 皇統護持

国体護持の要は皇統護持にあります  
皇統とは「天皇の血統のこと。」です。

> 皇統 - Wikipedia

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%9A%87%E7%B5%B1>

天皇というのは取替えの利く道具です。

天皇というのは、天皇の地位にいる人間に価値があるのではありません。

皇統という天皇の血統に価値があるのです。

事実、明治維新や第二次世界大戦敗戦の際、皇統に連なる人物を玉として利用しようとする計画があったとされています。

> 北白川宮能久親王 - Wikipedia

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8C%97%E7%99%BD%E5%B7%9D%E5%AE%AE%E8%83%BD%E4%B9%85%E8%A6%AA%E7%8E%8B>

> 皇統護持作戦 - Wikipedia

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%9A%87%E7%B5%B1%E8%AD%B7%E6%8C%81%E4%BD%9C%E6%88%A6>

国体護持を不可能にするためには、皇統護持を不可能にする必要があります。

さて、皇統に価値を与えている要素が2つあります。

- (1)天皇に連なる血統
- (2)天皇制

そこで、国体護持を不可能にするために、「(2)天皇制」の要素を消すことが考えられます。  
そのために、

法体系から天皇制を成り立たせる法令や条文を廃止した上で、

天皇・皇族の人々に日本国籍を付与することで、

皇統を無価値にして、

一般国民と同等の唯の血統にするわけです。

ここで、こう思われる方もおられるかもしれない。

「(1)天皇に連なる血統」の要素を消すことも考えられる。

天皇・皇族を一族郎党皆殺しにすれば皇統護持を不可能にできるのではないか？

それは、一理あります。

しかし、この手段は下策です。

なぜならば、労多くして功少なし、だからです。

天皇の血統は天皇・皇族に限りません。

継体天皇は5代前まで遡って天皇になりました。

> 継体天皇 - Wikipedia

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%B6%99%E4%BD%93%E5%A4%A9%E7%9A%87>

また、未知の血統からひょっこり皇統に連なる人物が現れることもありえます。

第二次世界大戦後、熊沢天皇という人物が現れたことがあります。

この人物も、状況によっては利用価値が出たかもしれません。

> 熊沢寛道 - Wikipedia

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%86%8A%E6%B2%A2%E5%AF%9B%E9%81%93>

さらに、一族郎党皆殺しにすること自体困難が伴います。

逃亡や替え玉、国外亡命という手段をとられた場合、取りこぼしが生じます。

また、バイオテクノロジーの進歩が一族郎党皆殺しを一層困難にします。

皇統に連なる人物の精子を冷凍保存すれば、いつでもどこでもいくらでも皇統を作り出せます。

皇統とは量産可能な兵器なのです。

そこで、

皇統を根絶やしにするよりも、天皇制を廃止して、  
皇統に価値を与えるバックボーンを消すことにより、  
天皇の血統を無価値にする方が効果的だ、  
と考えられます。



また、天皇制を廃止したとしても、皇統には利用価値があります。  
天皇制復活を阻止する駒として利用できるということです。

南北朝は北朝と南朝をそれぞれ利用しようとする勢力があったことで、60年近く続きました。

- > 尊氏は後醍醐天皇との和解を図り、三種の神器を接收し持明院統の光明天皇を京都に擁立(北朝)した。
- > 政争に敗れた直義は南朝に帰順し、
- > このため北朝は、光厳の皇子で崇光の弟の後光厳天皇を神器無しで即位させ、併せて公武の官位を復旧させ、尊氏も征夷大將軍に復歸した。
- > 1361年(正平16年/康安元年)幕府内での抗争で失脚した細川清氏が南朝に帰順して、  
[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8D%97%E5%8C%97%E6%9C%9D%E6%99%82%E4%BB%A3\\_\(%E6%97%A5%E6%9C%AC\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8D%97%E5%8C%97%E6%9C%9D%E6%99%82%E4%BB%A3_(%E6%97%A5%E6%9C%AC))
- > 南北朝時代(日本) - Wikipedia

このように、たとえばある勢力が皇統に連なる人物を玉にして天皇制復活を企てた場合、別の皇統に連なる人物を玉に利用することで対抗勢力を組織することが考えられます。つまり、皇統は、天皇制を復活させる勢力が出現した場合に、その勢力を抑える為の駒として利用価値があるのです。

また、天皇・皇族の人々は、囹やスパイとしての利用価値もあります。

もしも、天皇制復活を目論む勢力が現れたならば、その勢力は天皇・皇族の人々に接触してくると考えられます。そこで、天皇・皇族の人々を監視することで、天皇制復活を目論む勢力の動向を掴み易くなると考えられます。

加えて、天皇・皇族の人々に、接触してくる人々の情報を提供してもらえそうな仕組みを整えておけば、天皇制復活を目論む勢力の動きを、より掴み易くなります。

このように、天皇・皇族の人々は、囹やスパイとしての利用価値もあります。

そこで、  
天皇・皇族の人々は生き長らえさせる方が得策。  
私はそう判断しました。

天皇・皇族の皆様方にとっても、天皇制を廃止する方が、得策ではないでしょうか？  
天皇制は一種の奴隷制です。  
天皇・皇族の人々は奴隷です。  
天皇制を存続させるということは、今後とも天皇・皇族の人々が政争の具として利用され続けるということを意味します。  
天皇制廃止は奴隷制廃止なのです。  
本方策は、日本国民と天皇・皇族の皆様方の双方にとって WINWIN の結果になることを目指しております。

**天皇・皇族の皆様**  
天皇制廃止に御協力いただけますね？  
これは日本国民を護る為です。

天皇制廃止は、政府が国民保護よりも国体護持を優先するという事態を繰り返さないように禍根を断つ事が目的です。

天皇・皇族の皆様方には日本国民を護る人間の盾となっていただきます。

日本国政府が、国体護持ではなく国民保護を行うような体制を整えておく必要があります。  
そのために、天皇制廃止が必要なのです。

政府が国民保護よりも国体護持を優先するという事態を繰り返さないために、今後の方策として次の手段が考えられます。

憲法改正により、日本国憲法から天皇に関する条文を全て削除する。

これは天皇制廃止を実現するための最初のステップになります。

本方策の方針は以下の通りとなります。

憲法改正により、日本国憲法から天皇に関する条文を全て削除する。

これにより、天皇・皇族の皆様方を日本国民と同等の立場にする。

これにより、天皇・皇族の皆様方を日本国民と一蓮托生にする。

これにより、日本国政府が皇統の維持をするためには国民保護を行わざるを得なくなる状況を作り出す。

一蓮托生

これが本方策のコンセプトです。

## まとめ

### 第三次世界大戦は既に始まっているのではないか？

私は第三次世界大戦は既に始まっているのではないかという危惧を抱いています。  
このような世界情勢の中で、アメリカに依存した防衛体制のままでは日本は危険です。  
私は、これからの日本は、アメリカに頼らなくても、自分の国を守る意思と力を持つ国になるべきだと考えています。

そのために、安保法制を成立させることが必要なのではないかと考えています。  
そして、これにより、アメリカと協力してイスラム国を壊滅させる。  
それが結局、日本を守ることになるのではないのでしょうか。

ただし、日本を守るという意味が、国民保護を意味しないようでは意味がありません。  
日本国政府が、国体護持ではなく国民保護を行うような体制を整えておく必要があります。  
そのために、天皇制廃止が必要なのです。

日本国民の皆様

天皇制廃止を条件として、安保法制を承認なされてはいかががでしょうか？

具体的には、

憲法改正により、日本国憲法から天皇に関する条文を全て削除する。  
これを、安保法制を承認するための条件にする。

将来的には、日本国憲法第九条の削除を行うことを提案します。





目出る處

日 今まさに沈まんとす

嗚呼 紅に染むか

秋津島の空

m9(°▽°)Идиот ! > номенклатура

נומנקלטורה עמלק

Ceterum autem censeo, Nomenklaturam esse delendam.

m(ΦωΦ)m<ウニャウニャ)

\*\*\*\*\*

v(^o^v) デイジー 春九千(Chun Jiuqien)

( x ) デイジー <http://www.geocities.co.jp/WallStreet/7659/>

m m> イマナンジー e-mail:chunjiuqien@infoseek.jp

\*\*\*\*\*